

2016/8/31

摂南大学との共同研究によって、コラーゲンペプチド摂取が血糖値上昇を抑制するメカニズムを解明した論文が国際誌 (Journal of Medicinal Food,2016) に掲載されました

糖負荷した正常マウスに対して、コラーゲンペプチドを摂取させることにより、血中の血糖値上昇を抑制させる働きがあるか検証することを目的としました。

結果、コラーゲンペプチドは、次のメカニズムにより、血糖値の上昇を抑制することが明らかになりました。すなわち、①腸での糖の吸収を抑制する作用、②インシュリンの分泌を促進するホルモンGLP-1を分解する酵素DPP-4の阻害作用、③GLP-1の分泌自体を促進する作用。

本研究成果より、コラーゲンペプチドの摂取は、2型糖尿病での血糖値上昇を抑制する可能性が示唆されました。

詳しい内容に関しては <http://online.liebertpub.com/doi/10.1089/jmf.2016.3711> をご参照ください。